



「徳川美術館展 尾張徳川家の至宝」レポート



銀溜白糸威具足 一領 江戸時代 17世紀 徳川美術館 【通期展示】

このてんらん会は、昔のおさむらいさんたちはどんな生活をしてたのかを伝えるためにつくられました。まず、「戦」。左の写真は400年ほど前につくられた徳川義直のよろいです。銀、白、緑が使われていて色がうすくなり、しみが出てきたのがみかになっています。

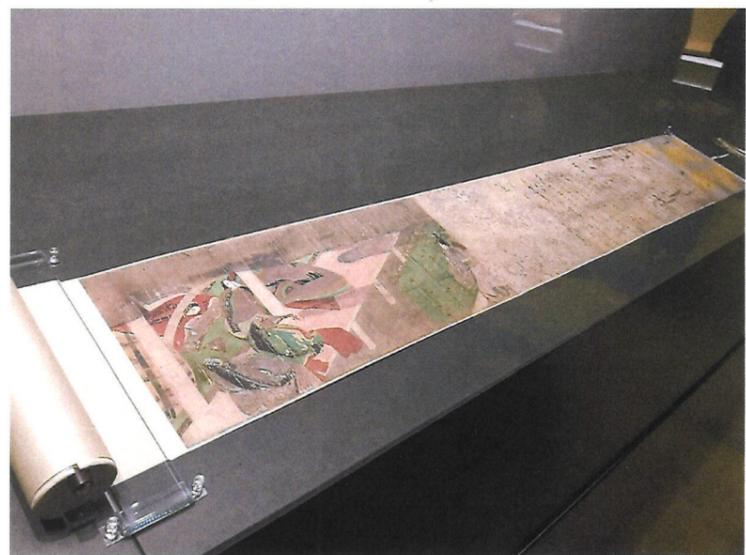
次に、おさむらいさんたちはどのようなものを楽んでいたのか。右下の写真は1000年ほど前の平安時代にかかれたまきものになっている昔の物語です。1000年ほど昔にかかれた作品はあまり残っておらず、とてもきりやいな物となっていて、国宝にもなっている。左下の写真は、昔のお姫さまがよめいりする時の道具の一つです。ふつりのしよぎの道具とはちがい、金・銀でかざられています。えがかれているのは、源氏物語の場面や景色で、

全ての面の絵がつながっています。

このてんらん会では国宝のものやなかなか見られないおさむらいさんの生活を見ることが出来ます。細かいところまでよく見てみてください。



国宝 胡蝶時絵将棋盤・駒箱 一揃 江戸時代 寛永16年(1639) 徳川美術館 【展示期間: 7/31~9/1】



国宝 源氏物語絵巻 橋姫 一巻 平安時代 12世紀 徳川美術館 【展示期間: 7/31~8/15】